

# 可

五年

画数 5  
筆順 一 可 可  
オン カ  
フン

成り立ち

号(年 302)と同じ成り立ちの字で、「口」と「可」とを組み合わせて作った字です。

「口から大きな声が出る」ことを表した字です。それは、気分が良いからで、「よし」ということを表したものです。

「よい」とみとめる「意味にも使われます。【例】認可、許可、可決、可否、不可。

「できる」という意味にも使われます。【例】可能、可燃物、可視光線。

使い方

▼おかあさんに、友だちの家へ遊びに行く許可をもらってから、出かけました。許可を受けずに行くと、あとで、しかられるのです。帰りがおそくなると、心配するので、無理もないと思います。

▼人間は、不可能だと思われることを、次々と可能にして来ました。人間の歴史は、努力の歴史です。

熟語例

- ▼認可 (役所などが、よいと認めること。)
- ▼許可 (頼みなどを、よいと許すこと。)
- ▼可決 (会議で、議案をよいと決めること。)
- ▼可否 (よいか悪いか。また、可決と否決。【判定の可否をめぐって、討議が続いた】などというふうに、つかいます。)
- ▼不可 (いけないこと。「可もなく不可もなし」と言えば、「良くもなければ悪くもない」という意味です。)
- ▼可能 (できること。)
- ▼可燃物 (火に燃えやすい物)
- ▼可視光線 (肉眼で見える光線)

# 仮

五年

画数 6  
筆順 一 仮 仮  
オン カ・ケ  
フン かり

成り立ち

標準線を意味する「一」の下に、下向きの足の形を表した「夂」を加えた「反」と、「イ」とを組み合わせて作った字です。

「下降している人」という意味を表した字です。人は下降することがあっても、長い間には必ず向上するものです。下降するのは「一時的」な現象であって、「ほんとうのすがたではありません。それで、「一時的」

「ほんとうでない」「かり」という意味を表したものです。【例】仮説、仮称、仮名、仮眠、仮病。

【旧字体は、假で、粗玉の意味の「瑕」と「イ」との会意・形声字で、「まだ磨かれてない人」という意味の字である。】

# 仮

五年

画数 6  
筆順 一 仮 仮  
オン カ・ケ  
フン かり

成り立ち

号(年 302)と同じ成り立ちの字で、「口」と「可」とを組み合わせて作った字です。

「口から大きな声が出る」ことを表した字です。それは、気分が良いからで、「よし」ということを表したものです。

「よい」とみとめる「意味にも使われます。【例】認可、許可、可決、可否、不可。

「できる」という意味にも使われます。【例】可能、可燃物、可視光線。

使い方

▼宇宙の誕生については、これまでにいろいろな仮説がありました。今、一番有力な仮説は、遠い遠い昔、ビッグバンという大爆発があつて、そのために宇宙が生まれたのだ、というものです。でも、これは仮説ですから必ずしも本当とは限りません。それにしても、その大爆発はいつたい何で起こったのでしょうか。

熟語例

- ▼仮説 (仮の説。ある現象を説明するために、仮に立ててみた理論。「仮説が正しいことを証明した」などというふうに、つかいます。)
- ▼仮称 (仮の呼び方。正式の名称が決まるまで、仮に決めた名前)
- ▼仮名 (仮の名。本名をかくして、仮につけた名前。「仮名で応募する」などと、つかいます。)
- ▼仮名 (日本で、漢字から作った文字。漢字のことを真名といい、本物でない文字の意味でつけた名称)
- ▼仮眠 (本式でなく、ちよつと眠ること。うたたね)
- ▼仮病 (うその病気。病気のふりをする事。「仮病をつかって、すぐわかるよ」などと、つかいます。)